

私は

人の**関わり**

が好き!

福祉

浜児童相談所 相談判定課

平成30年度採用

わたしを表すKEY WORD

#旅行

定期的に旅行へ行くことで、リフレッシュしています。特に温泉が好きで、ドライブがてら県内・県外問わずに足を延ばしています。

#麻雀

学生の頃に麻雀と出会い、最近も度々知人らと卓を囲んでいます。シンブルに麻雀という競技の面白さもありますが、自然と思考力や判断力が培われ、ストレス解消と気の合う人達とのコミュニケーションツールとして役立っています。

#スポーツ

#漫画

#ラーメン



[職歴]

H30～ 県中児童相談所 相談判定課

福島のこども達に幸せな未来を！

児童相談所は、18歳未満の児童に関する様々な相談に応じ、必要な調査・支援を行います。児童福祉司は、保護者及び児童からの相談業務に加え、関係機関と連携しながら問題解決を図る職種で、相談対応や関係機関との調整が主な業務となります。

業務内容も煩雑で、対応に苦慮することも多いですが、その分、保護者や児童の成長が感じられたり、問題の解決に繋がった際には、自分のことのように嬉しく、やりがいに繋がっています。

県職員を目指した理由

漠然と『公務員』を目指す中で、特に興味の惹かれた児童分野で働けること、地元である福島県に貢献したいとの思いから県職員を志望しました。



とある一日のスケジュール

8:30	始業 書類整理
10:00	ケース会議出席
12:00	昼休み

13:00	事務処理
15:00	保護者及び児童との面接 記録作成
17:15	終業

自身の職種の魅力・面白いところ

職務上、立場の違いから保護者や他の関係機関との調整などで負荷のかかる業務もありますが、その分、関係機関と協働し、上手く支援に繋がったり、家族に良い変化が生まれた際には、とてもやりがいを感じます。

また、職員同士が互いに苦労を理解できるからこそ、職員間の結束は強く、気軽に相談し合える風通しの良い職場であることも、福祉職の魅力の一つです。



福島県職員として実現したいこと、目標としていること

児童相談所の現状として、年々相談件数が増え、内容も煩雑化していることで、福祉職の『専門性』が求められています。

これまでの経験を活かし、今後も日々研鑽を積みながら、専門性を高められるよう努力していきたいです。



受験者へメッセージ

児童相談所に限らず、対人援助職は明確な答えのない仕事です。私自身も日々悩み、葛藤しながら仕事をしていますが、やりがいのある仕事であることは間違いありません。

困った際には、経験豊富な先輩職員が手厚くサポートしてくれるので、興味のある方は、ぜひ福島県職員を受験してみてください。